

「新やお改革プラン2.0」(素案)についての 市民意見提出制度(パブリックコメント)の実施結果と市の考え方について

「新やお改革プラン2.0」を策定するにあたり、八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例第12条の規定に基づき、検討途中の素案を公表し、市民意見提出制度(パブリックコメント)を実施しましたので、その結果と提出された市民意見に対する市の考え方を公表します。

ご提出いただいたご意見等は原文の内容を基本としつつ、趣旨を損なわないように要約しております。

(1) 意見募集期間

令和5年6月1日(木)～令和5年7月10日(月)

(2) 提出方法別の提出人数及び意見数

提出方法	提出人数(人)	意見件数(件)
直接持参	4	9
電子メール		
FAX	20	50
郵便		
八尾市電子申請システム	1	1
合計	25	60

「新やお改革プラン2.0」(素案)についての市民意見提出制度(パブリックコメント)の実施結果と市の考え方について

分類	市民意見の主な内容(要約)	市の考え方
全体について	<ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口が減ると職員数を減らすというのはおかしい。職員数はそのまま、人口を増やすための努力をすべき。 ・人口減少は日本だけの問題ではない。市民に不安をあおり、行革を推進するのは正しくない。 	<p>本市に限らず社会全体で人口減少が進む状況において、本市の限りある経営資源で行政サービスを維持するために、行財政改革に取り組む必要があると考えております。</p> <p>その取り組みの一つとして、類似団体との比較等で高水準となっている職員数や人件費についても適正化を進めるものです。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・情勢分析が一面的であり、地球温暖化対策などの緊急課題や食料とエネルギー資源を輸入することが日本経済として困難になりつつあることの記載がない。ただ、経費削減と職員削減の内容となっている。 ・産業集積、地域資源を活かした活性化策を前面にし、住民の福祉向上をめざしながら、改革を考えるべき。 ・地域振興策などの発展・成長策がなく、行財政改革のみになっている。 	<p>本プランでは、行財政改革に取り組むにあたっての本市の現状と課題を分析しており、社会経済情勢など、市の行財政運営に緊密に関わるものを特に掲載しています。</p> <p>また、本プランは市の行財政運営についての方向性を示すものであり、地域や産業などの活性化策については、総合計画実施計画等において記載されるものと考えておりますが、それらの活性化策に取り組むための財源を確保するためにも、行財政改革の取り組みが必要であると考えております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・出発点となる地方自治法の住民福祉の増進とありながら、住民の生活そのものの分析はない。 	<p>市民の方々の生活そのものの分析は、市民ニーズに対応する取り組みを検討する場合に行うものと考えており、本プランでは、行財政改革に取り組むにあたっての本市の現状と課題を分析しております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・まず新やお改革プランの到達状況を示し、市民的な検証をすべき。新やお改革プラン2.0には、どの分野・事項についての計画であるか示されておらず、意見のしようがない。 ・2019年策定の新やお改革プラン以降、4年間について、反省点などはないのか。 	<p>令和元年(2019年)11月に策定した新やお改革プランに基づく行財政改革の取り組みを進めてきたことで、時代のニーズに適合した市民サービスの提供を実現しながら、目標とした市の基金残高を維持することができ、好循環を生み出すことができたものと考えております。また、本プランでは、前プランの理念を継承しつつ、さらなる好循環を実現していくことをめざしており、個別の取り組みは実行計画としてお示ししてまいります。</p> <p>なお、新やお改革プランに基づく取り組みの4年間の成果等につきましては、実績報告書として取りまとめ、市ホームページ等で公表させていただく予定です。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して文章表現があまりにも難しい。市民が理解できる内容に改めてほしい。 ・記載内容は行政用語が多く、解説する資料を添付するなど望む。 	<p>いただきましたご意見を踏まえ、本プランで使用している行政用語などを中心に、語句の意味などを解説した用語集を作成し、本プランに追記することとしました。</p>

分類	市民意見の主な内容(要約)	市の考え方
基金について	<ul style="list-style-type: none"> ・基金は貯め込むものではない。物価高等で市民生活が大変になっており、八尾市独自の減免制度を存続させるべき。 	<p>財政調整基金は、年度間の財源調整や災害等の突発的な財政需要に対処するなどの目的があり、持続可能な行財政運営を実現するためには、一定の基金残高を確保する必要があります。</p> <p>市では、不測の事態による財源不足や経済状況の変動等に備え、類似団体との比較や中期財政見通しなどを踏まえ、一定の基金残高を確保することを本プランの取り組み目標としております。</p>
人事関連について	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の労働条件、給与を見直し、豊かな教育改革を望む。 ・非正規職員の雇用も守るべき。 ・職員を増やさないのは間違い。優秀な職員を採用すべき。 ・ケースワーカーを増員すべき。 ・学校の校務員、栄養士は各校に1名ずつ在籍するのが望ましい。 ・図書館や専門施設には、資格を持つ人を配置してほしい。 	<p>職員数などについては、効率的な組織体制の構築や行政DXの推進等に取り組みながら、適正化を進める必要があると考えております。</p> <p>また、職員が働きがいを感じ、能力を最大限に発揮できる環境整備等に取り組むことで、市民サービスの向上につながっていくものと考えております。</p>
民間委託等、公民協働の推進について	<ul style="list-style-type: none"> ・なんでも民間にすべきではない。PFI方式は税金がどれほど使われているかわからない。 ・ごみ収集の民営化、水道事業、図書館、消防署など、すべての市民の命や知る権利などに深く関わる事業について、市民の意見を聞いて進めるべき。 ・外部委託や指定管理者制度など、民間事業者との連携の取り組みでは、市民の要望などを受け止められない。 ・市役所に勤める人の生活が大変であり、すべてにおいて外部委託はやめてほしい。 ・ごみ収集、図書館、水道事業は民間委託すべきでない。 ・プールは、民間委託や近隣学校で行うことなく、各校で行うべき。 ・学校プールは、着衣水泳など安全教育のため必要である。民間プールに行くのは熱中症の危険性がある。 ・学校プールは自校でできるよう、民間委託はしないほしい。 ・ごみ収集の民間委託は市民が困る。 ・ごみ収集、水道事業等のライフラインに直結するものは、公民協働ではなく、公がしてほしい。 ・ごみ収集の民間委託はやめてください。 ・外部委託、指定管理者制度は反対。ワーキングプアが起こる。 ・山手の汲み取りは市職員がきれいに取っており、心配ない。 	<p>民間委託等、公民協働の取り組みについては、市が事業を行う手法の一つとして、市民サービスの向上や行財政運営の最適化に資するものである場合に選択を検討するものと考えております。</p> <p>民間委託に限らず、様々な主体との協働や外部資源を活用した取り組みの推進と見直しを行うことで、行財政運営の最適化につながると考えております。</p>

分類	市民意見の主な内容(要約)	市の考え方
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードと健康保険証の紐づけは反対。 ・紙の健康保険証は残すべき。 ・マイナンバーカードは不安で、健康保険証との紐づけはできない。 ・健康保険証は紙の保険証でないとなくすため、マイナンバーカードとの保険証はやめてほしい。 ・国民健康保険料は今後どうなるのか。マイナンバーカードとの連携はこのままでよいのか。 ・国民健康保険料、介護保険料が高い。 ・これまで国民健康保険料は大阪府下において八尾市独自となっていたが、令和5年度予算で増額となり、市民負担が増えている。独自の部分は残すべき。 ・国民健康保険料の大幅な引き上げは、住民の福祉増進に相反する。基金を投入すべき。 ・国民健康保険料が値上がりしているなか、基金を適正に使い、市民の暮らしを守るべき。 ・国民健康保険料について、大幅な増額は残念。 ・市立病院行きのバスが少なく、1時間ごとにしてほしい。 ・市立病院に行くバスが少ない。 ・市立病院への通院バスについて検討してほしい。 ・市立病院への無料の通院バスを復活いただきたい。 ・自衛隊のみ強化せず、住民の命と安全を第一にすべき。 ・八尾駐屯地の強化について、近隣にこども園があり、八尾市から国に申し出てほしい。 ・給食無償はとても良いが、中学校での弁当ではなく、自校でできないか。 ・こどもの教育は将来を見据えて、もっと深く検討してほしい。 ・幼稚園は各地区に設立すべき。 ・中学校給食で、アレルギー対応など、栄養士を増やして対応してほしい。また、プラスチック容器は、環境問題の点から、毎回回収し再利用すべき。国がすべての小中学校給食の無償化をするよう市から国に要望してほしい。 ・中学校にも食堂をつくってほしい。 ・10代の居場所をつくってほしい。 ・子どもが楽しめる公園づくりをしてほしい。 ・JRや近鉄電車などに快速電車から各駅電車への振り替えや、乗り換えのホームの配置など、市から主張すべき。 ・八尾市は市民の安全のために、近鉄電車の指導をすべき。 ・基金、ふるさと納税が増額になっている。小企業者向けの補助金を出すべき。 ・車道と歩道間の植栽を金網フェンス等にすれば、定期的な伐採等の歳出削減になるのではないか。 ・八尾市の東西南北の人口を一定化する必要がある。 ・文化、芸術に力を入れてほしい。 ・旧図書館跡地の使い方は大変な間違い。 	<p>本プランに基づく具体的な取り組みの検討や、市政全般を推進していく上での貴重なご意見とさせていただきます。</p>